

- ② いじめ問題抑止のキーワード
「大人たちが、関わる」
特定非営利活動法人ユース・ガーディアン代表理事 阿部泰尚
- ⑥ 「伝えよう、日本の心プロジェクト」全国各地で推進中
- ⑧ 一人ひとりの熱意が運動の原動力
全国表彰式受賞者紹介
- ⑨ 名物校長に聞く「情熱」教育論」Part 2
青森山田高等学校 校長 花田 惇
- ⑩ 親切さんのその後
山形県米沢市 笈掛 昇
- ⑪ 盲導犬を知ろう
- ⑫ 牛乳パックで「世界でひとつ」のおもちゃができた
- ⑬ コラム「これってどうなの?」／のんちゃんのおすすめ紹介
- ⑭ Information & HIROBA



表紙写真

- ①：春日大社の万燈籠（奈良県）
- ②：通称「いじめ探偵」阿部泰尚さん（P2-5）
- ③：キャリアアチェンジ犬の「ジェード」（P11）
- ④：地域の大人とあいさつ運動（岐阜県郡上市・P7）
- ⑤：きれいな街でおもてなし（奈良県）
- ⑥：夜の「三井埠頭」（P13）
- ⑦：被災地の子どもたちとの交流をポストカードに（P10）

「小さな親切」誌は、季刊発行

春号・5月、夏号・8月、秋号・11月、新春号・1月の予定です

2019年11月1日発行 通巻516号

編集・発行人 鈴木恒夫

発行所 公益社団法人「小さな親切」運動本部
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-20-4
TEL. 03-3263-2866 FAX. 03-3263-3838
<http://www.kindness.jp/>

印刷所 広研印刷株式会社

© 無断転載禁止 落丁、乱丁はおとりかえいたします。

デザイン・DTP 有限会社リトルフット

イラスト P13：安彦麻理絵

恒さんが行く!



「グリーン大作戦」で思いっきり

代表 鈴木恒夫

東

京オリンピック・パラリンピックの開催がいよいよ近付き、その成功をめざしての様々な動きが盛り上がりを見せている。

私たち「小さな親切」運動の「伝えよう、日本の心プロジェクト」も、皆様のお力添えを賜り、日本列島グリーン大作戦や、海外の方々に「小さな親切」をして下さった方への特別な実行章の贈呈など、五つの事業を展開、大きな反響を呼んでいる。あらためて「ありがとうございます」と申し上げます。

私の住む横浜でもグリーン大作戦は毎年、横浜港ぞいの山下公園で。最近二年は残念ながら台風がらみの悪天候で前日に中止されたが、私は全く別のグリーン作戦を、毎朝一人で、何年も前から実行し続けている。拙宅の前に、小道を挟んで広がっている公園での早朝のゴミ拾いだ。山下に代々住んでいた地主の篤志家が横浜市に安く裏山を提供、斜面に三段の草原、頂上に広場を設けて、今では誰にも人気の、緑いっぱいの園。

地

主さんはもう故人になられたが、私は個人的にもいろいろと教えをいただいた方。せめてものご恩返しにも……と、私はいつも胸に感謝の思いを抱きつつ、ゴミ拾いをしているのだ。雨の日はさすがにやらないが、まだ人影のほとんどない公園に、軍手をはめた両手に竹製のトンゴと2枚のビニール袋を持って、一人ですべてのゴミに挑戦する。エラそうなことを言うが、78才の老人にとっ

ては、この30分余りの作業は、ありがたいことに格好の鍛錬。時おり、散歩中の方が「ご苦労サマで〜す」などと声をかけて下さるが、私は「いや、これ、私の趣味で〜す」などとテレ隠し。

こ

の報告をまとめるにはと、最近のある朝の「業績」を、思い切って数えてみる。タバコの吸いガラ24本と空き箱2コ、大小のポリや紙の袋7枚、マンガ本と新聞紙3冊、ゴム風船の破れた袋18コ、空カン3コ、ペットボトルは大小あわせて3本、ガラスビン2本など、など。もちろん犬のフンなどは拾わずに草むらに埋めて……。ビニール袋にたまったゴミ類は、いったん自宅のゴミ箱にため込み、横浜市の収集日にまとめて出す。

こうした作業をくり返ししながら、私はしばしば考え込む。グリーン大作戦は大切なことだが、なぜ人間はこんなにもモノを棄てるのだ。まず人間は資源を大切にすることを、そして温暖化防止など地球全体の環境保全という大課題に一人ひとりが真剣に取り組むようになることが先決のはずなのに、と。

私

が拾うゴミの量は時を追ってわずかずつ減っているように思え、まさに「人間、まだまだ捨てたもんじゃないゾ」とダジャレまがいに申しますが、東京オリ・パラがさらなる地球環境保全への気運向上への転機ともなりますよう、皆様とともに願う次第です。